

都市再生整備計画(第4回変更)

とんだばやしえきみなみ
富田林駅南地区

おおさかふ とんだばやしし
大阪府 富田林市

平成26年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	とんだばやし 富田林市	地区名	とんだばやしきみなみ 富田林駅南	面積	54 ha	
計画期間	平成	17 年度 ~	平成	26 年度	交付期間	平成	22 年度 ~ 平成	26 年度

目標

大目標 豊かな自然と歴史に育まれた快適都市をめざして一寺内町を核とした地域の活性化、来街者が集まり賑わいのあるまちづくり

- 目標① 寺内町が持っている歴史的な雰囲気より際立たせる住・生活空間の整備。
- 目標② 市の玄関口としての顔づくりや駅から寺内町に至るエリアの街並み形成の向上を図る。
- 目標③ 寺内町に調和した店舗展開による賑わいの創出。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・富田林市は大阪府の東南部に位置し、大阪都心部から約20kmの距離にある。歴史的に当地区は古くから南河内の中心的な機能を有し、周辺町村及び本市の中心市街地として生活・交通の拠点としての玄関口的役割を果たしてきた。
- ・富田林・寺内町は16世紀宗教自治都市として形成され、歴史的町割、町家、町並みがよく保存されてきたところである。当地区では約20年前より地元住民および専門家による町並みを生かす熱心な取り組みがなされてきたとともに、平成9年には府下唯一の重要伝統的建造物群保存地区に選定され歴史的町並みとしての位置づけが明確化されることになった。
- ・平成17年度より平成21年度で富田林駅南地区において、1期まちづくり交付金を使った都市の再生計画がスタートし、富田林駅からのアクセス道路の美装・照明灯設置、まちづくり市民協働プログラム策定等によって、まちづくりに対しての機運が高まり、平成20年1月23日に歴史・文化と調和した「賑わい」と「おちつき」のあるまちづくりを目指した地元組織、富田林駅南地区まちづくり協議会が設立される事になり、来街者数の増加、空き店舗解消、NPO等の活動団体数が増加し地域の活性化が図られている。事業を行っていく中でアクセス道路の整備、河川と富田林寺内町を一体的に考える具体的なまちづくり手法、空き家・空き店舗を解消する手法、駅前広場の都市基盤整備の不足が確認された。
- ・2期まちづくり交付金では、富田林寺内町と周辺地域資源との結びつきを強化し、更なる地域の活性化を図る為に、富田林駅南地区の区域を拡大し、富田林西口駅から富田林寺内町へのアクセス道路の整備を行い、富田林寺内町と石川とのアクセス道路の整備を行い、まちづくりワークショップを開いて、空き家・空き店舗を解消する仕組み作りに取り組み、駅前広場の基盤整備に取り組んでいく。

課題

- ・富田林寺内町と周辺地域資源との結びつきが弱い。
- ・市民、来街者の快適性・安全性確保のため、街路・駅前広場等の都市基盤整備が必要である。
- ・商店会として後継者不足、来街者の減少等により空き店舗が増加しており、商店会組織による魅力的、快適なまちづくりによる活性化が望まれる。
- ・富田林駅南地区内において空き家が増加しており、空き家を紹介する仕組み等を検討する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ・寺内町の歴史的資源を保全しつつ、中心市街地としての機能を回復し、快適な都市空間の形成を目指す。
- ・富田林市総合計画において、当地区は富田林市の中心市街地として市民生活拠点及び玄関口として位置づけられている。
- ・富田林市都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの目標として歴史的まちなみと石川や保存樹木など自然的景観と中心性の高い市街地の調和をめざす。また、多くの市民利用施設が集積するシビックゾーンとして、福祉のまちづくりを促進し、快適な市街地にしていく方針とされている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
来街者数	人/年	じないまち交流館に立ち寄る人数	立ち寄る客数が多くなることにより、地域活性化・観光・交流を図る	27,969	32,000
空家・空き店舗解消	件	空家・空き店舗有効利用件数	空家・空き店舗が有効利用されることにより、地域の活性化及び商業の活性化を図る。	0	4
富田林駅南地区まちづくり満足度	1~5段階	まちづくりに対する満足度アンケート	満足度を向上させる事により、寺内町を核とした地域の活性化、来街者が集まり賑わいのあるまちづくりを行う。	2.95	3.40

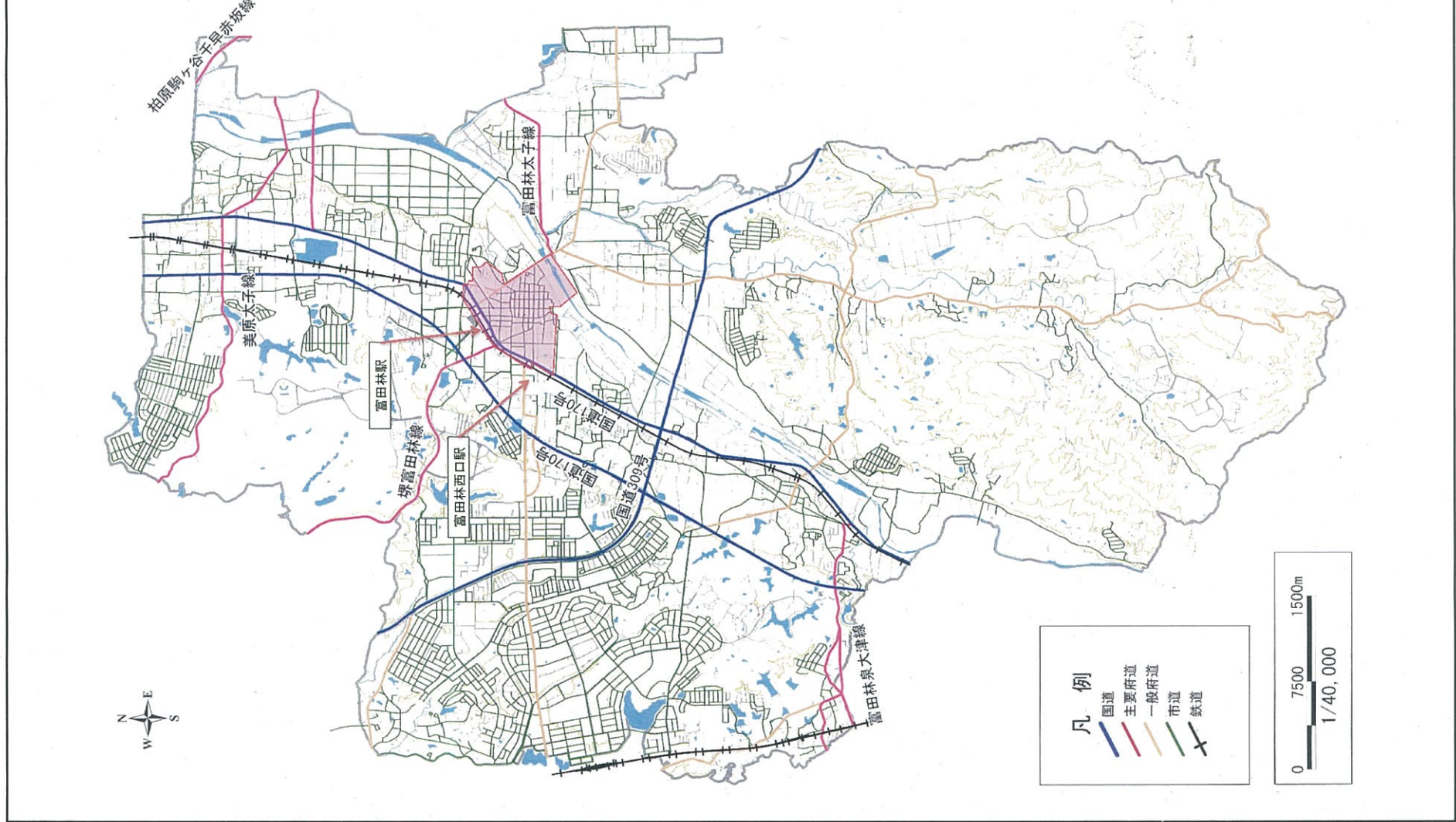
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針①(寺内町が持っている歴史的な雰囲気より際立たせる住・生活空間の整備。)</p> <p>・富田林寺内町と周辺地域資源との結びつきを強化する為に、寺内町区域整備を行い、居住環境の向上を図ると共に、観光客誘導、寺内町の主要観光ルートの整備を図る。</p> <p>・寺内町と石川が一体となったまちづくりを目指すため、石川河川公園へのアクセス路を整備する。</p> <p>・石川水辺空間整備について、富田林駅南地区まちづくり協議会・大阪府等によるワークショップを開き検討し、ワークショップで得た整備方針に従い、一部水辺空間整備を進める。</p> <p>・寺内町の歴史的街並みを保全するため、修理・修景補助をおこなう。</p>	<p>地域生活基盤施設整備(情報板 駐車場、富田林駅南広場)</p> <p>高質空間形成施設整備(照明灯設置 常盤1・2号線・亀ヶ坂)</p> <p>高質空間形成施設整備(カラー舗装 常盤1・2号線)</p> <p>地域創造支援事業(公園整備)</p> <p>石川 水辺空間整備事業(関連事業)</p> <p>街なみ環境整備事業(関連事業)、国宝重要文化財等保存整備費補助金(関連事業)</p>
<p>・整備方針②(市の玄関口としての顔づくりや駅から寺内町に至るエリアの街並み形成の向上を図る。)</p> <p>・本市の玄関口を形成するために、駅前広場整備により駅前空間づくり、利便性の向上を図る。</p> <p>・交通改善対策として、楠公通り(本町11号線)の歩道を設置整備し、あわせて一方通行の実施による安全性の向上、渋滞の解消を図る。</p> <p>・バリアフリーの重点整備地区内の生活関連経路及び準生活関連経路に指定されている路線を歩道段差解消を行う。</p> <p>・本市に寄贈された古民家を多目的に利用できる施設として、活用・改修を行う。</p> <p>・寺内町周辺の公共施設、住環境の整備を行うことにより、地域全体の魅力向上を図る。</p> <p>・市の玄関口としての顔づくりとして、新たに観光案内所及び展示スペース等の複合施設整備を行う。</p>	<p>道路・高質空間形成施設・地域創造支援事業(駅前広場整備 富田林駅南広場)</p> <p>道路・高質空間形成施設(歩道設置 楠公通り(本町11号線))</p> <p>歩道段差解消(関連事業)</p> <p>古民家改修活用事業(関連事業)</p> <p>道路整備</p> <p>若松地区再整備(関連事業)</p> <p>高次都市施設(観光交流センター)</p>
<p>・整備方針③(寺内町に調和した店舗展開による賑わいの創出。)</p> <p>・富田林寺内町の導入口として、駅前通りの照明灯の照度・色調・形状を改修し、商店街の夜間照明を演出する。</p> <p>・歴史・文化と調和した「賑わい」と「おちつき」のあるまちづくりを目指し、まちづくりワークショップを開くとともに、空き家・空き店舗を解消する仕組み作りを支援する。</p>	<p>地域創造支援事業(照明灯設置 国道170号(旧))</p> <p>まちづくり活動推進事業(まちづくりワークショップ 富田林駅南地区)</p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林駅南地区まちづくり協議会との協働のもと、空き家・空き店舗対策を進め、まちとしての賑わいを引き続き再生していく。 ・南河内に存する地域資源と連携し、南河内全体の魅力アップに努める事で、富田林駅南地区の賑わいを推進していく。 	

都市再生整備計画の区域

富田林駅南地区(大阪府富田林市)	面積 54 ha	区域 本町、富田林町の一部、谷川町の一部、若松町1丁目の一部、若松町2丁目の一部、大字新堂の一部、甲田1丁目の一部、常盤町の一部
------------------	-------------	---

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



富田林駅南地区(大阪府富田林市) 整備方針概要図

目標	豊かな自然と歴史に育まれた快適都市をめざして寺内町を核とした地域の活性化、来街者が集まり賑わいのあるまちづくり	代表的な指標	来街者数 (人/年)	27,969 (20年度) → 32,000 (26年度)
			空家・空き店舗解消 (団体)	- (20年度) → 4 (26年度)
			地区満足度アンケート (1~5段階)	2.95 (20年度) → 3.40 (26年度)

